

5月29日（水）第1回ワークショップ ふりかえりシート 記述

ワークショップ参加者：28名 ふりかえりシート回収：27枚

参加者の年代 30代（4名） 40代（7名） 50代（2名） 60代以上（14名）
参加者の地区 東地区（5名）中地区（7名）北地区（6名）南地区（5名）西地区（3名）不明（1名）

1. 情報提供を聞いて感じたこと、印象に残ったことを書いてください。

- やはり、まだ開示されていない情報があったり、また、色々なことを話し合うために必要な情報や基本的な素案が足りないように思った。
- 説明が速く、資料がどこにあるのか探すのが大変でした。資料を提示するならもっとゆっくり分かりやすく説明して欲しかったです。スライドにはありましたが、手元にない情報もあったので…（スクールバスの費用など）。
- 一貫校ありきで用地の話から始めることに違和感があった。まず、どういうスタイルが子どもたち・教職員・地域の人々にとってベストかがあった上で、その内容に合わせた用地を検討すべきだと思う。
- 本当に多度の住民のこと、多度の子どもたちのことを考えて、桑名市が提案しているとは思えなかった。もっと真剣に多度のことを考えて案を出して欲しいと思った。
- そもそも論で、なぜ一体型なのか理解できなかった。
- 具体的な情報は不十分。費用試算した情報を知りたい。
- 共通した考えであったと感じた。資金面含め、小中一貫校を作ることには反対でしたが、建設場所を選ぶときに何が優先されるのか、そこに自分たちの意見が反映させるのか心配になった。
- スクールバスの情報もプリントで欲しい。「何のため」が出てこない。メリットだけの説明である。
- 教育について、具体性がない。
- 今後の人口（児童生徒数）の変動について、どんどん減っていくことは分かりましたが、4～5年でやはり小中一貫は難しいと感じています。小中一貫した当初の子どもたちはやはり人数が多く、子どもたちを大切にしているとは思いません。
- 事業の推進ありきでメリットだけを説明して、デメリットについては「乗り越えるべき壁」としか言及しない態度がいままでと変わっておらず残念。
- 参加者や地域の方は、本件への関心や勉強程度に大きな差・バラつきがあり、毎回意見がバラバラとなっている。検討のベクトルを合わすべきであり、事前研修会が必要ではないか。

- 今後の多度が不安になりました。
- 地域のつながりが育まれるコミュニティスクールの道を。
- 小中一貫校を設置するふさわしい土地がなかったと思ったが、私としては、これで選択しなければと思っていたので、4つの案ではアイリスパークを選択していました。
- 小中一貫校多機能複合化ありきの数値情報、都合のいい情報ばかりでうんざりというのが実感。そもそも住民の思いから出たものではないので、仕方のないことではあると思うが。
- 施設一体型は多くの方が反対。行政への不信感がある（まず市長が説明）。児童数が減少する前提で進んでいる。その前に多度に住みたいと思うまちづくりが必要。
- 何年か前の話し合いがあまりいかされていない。
- 桑名市の情報は少なすぎる。資金をもっと示すべき。特に補助金などを示してほしい。

2. グループワークを終えて、今日の内容を受けてのご感想を書いてください。

- 皆の思いは大まかに同じであった。
- どの方も子ども中心の考えを述べられていたことが印象に残った。
- 参加者は真剣に討論してくれたと思います。市の幹部の方には、意見を取り入れて施策を実行して欲しい。もっと早くにこのようなワークがあれば良かったのでは。「テーマ」をそれぞれ分けては討論できたのでは。
- 広い場所を確保したいという意見が多かった。昨今の事件（小学生が被害者となる）によるものとして安全性に高い関心がある。
- 安全・安心が第一かな。
- とても良いグループワークだったと思います。
- 様々な意見をきくことができて良かったと思います。多度のまちが好きなので子どもにとっても大人にとっても良いまちづくりを期待しています。小中一貫校は子どもにとって必要だと思います。
- 行政の方には、本日の内容を受けて、より具体的なプランを出していただくよう期待したい。
- 様々な立場の方の意見をきくことができて良かったです。
- 一貫校ありきで用地の話から始めることに違和感があった。まず、どのようなスタイルが子どもたち・教職員・地域の人々にとってベストかがあった上で、その内容に合わせた用地を検討すべきだと思う。
- 用地を含め、今後の案を提出される際には、多度の将来に明るい展望が持てるようなものを考えて提出して欲しい。
- 参加者（関心のある方）の多くは意見は同じものを感じた。しかし、小中一貫の必要性和小学校の統合だけでもよいのかという事も、もう少し話し合う必要と、理解が必要だと思った。

- 色々な世代の方の話をきけて良かった。もっと具体的な話がしたかった。小中一貫することありきで話が進むのがおかしい。
- 何とも言えない。
- 多度の子どもたちのことを一番に考えてみえる様子があった。ただもっと多度町全体で考える場を作っていけたら良い。
- 子どものために、みなさん考えている事が同じような事だとわかり安心した。
- グループで話し合われたことを行政がきちんと受け止めて欲しい。
- 今まで何回か市からの話し合いを持ってきた。その様子もきいてきたが、全く住民の声を無視していると感じる。これだけ反対の声がある中、強行するのは何のためか。市長自ら考えを述べるべきだと思う。どうしたら多度のまち・子ども・人々がいきいきと暮らせるか。みんなで考えていきたい。
- まだ難しいと思います。小学校の統合化はだめなのではないでしょうか。
- 「場所」の検討という前提で話をしたが、他のグループでは「反対」の声ばかり出て、ワークショップとしてどうだったのか。これだけ反対意見がある中で、検討地の候補を決めるというのも無理があるのではないかと。計画そのものと候補地の検討を両にらみで進めるべきではないでしょうか。
- みんなで同じようなところを気にしていることが分かりました。
- 参加者が少なすぎる。先生出身が多すぎる（＝一般人は声が出にくい）。先生たちは別グループを要望。一般市民で検討したい！
- 何度も同じことの繰り返し（場所決め）。
- 一部生産的でない意見はあったが、参加者の方々は多度のことを一所懸命に考えていることが分かった。
- もっともな意見ばかり。
- いろいろな年代の方、立場、地域によって意見が違っていました。
- まちづくり課の方から、以前提案されていた庁舎周辺の案が、市長が止めるに至ったとの情報を得て、今日参加して良かったと思った。住民の意見をとにかく真剣にきいて欲しい。市長さんにも是非顔を出していただくように。
- 小中一貫校は地域の意見は反対の声が多い。
- 市長が進めるのに、少しの時間でも多度で語るべき。他の所で話をしているのに、おかしい。

3. 次回以降のワークショップの進め方について、意見があればお書きください。

- 部屋が小さすぎ。隣の声が大きく、意見が半分聞こえない。付箋の記入は、一品一葉を指導して欲しい。1枚の付箋にいくつもテーマを書いても、分類やまとめがしづらい。資料には穴をあけて。
- そもそも、一体型から討論していただきたい。

- 具体的な話を聞かせて欲しい。
- 市長も参加して直接意見を言える、聞ける場が欲しいです。
- ワークショップというよりもどうしても自分の意見を主張する議論になってしまいがちだった。もっと前向きで建設的なワークができるといいなと思います。
- ワークショップをしたから、これで住民の理解が得られたと思わないで欲しい。
- 毎回同じ顔ぶれなので（ほとんど）これから関係してくる保護者たちの参加が不可欠だと思う。各学校でのこういう話し合いが必要だと思う。10月末までの決定というのが、このペースでの話し合いでは足りないと思う。もっと話し合い、説明の機会が必要。
- 抽象的な話ではなく、もっと具体的な話がしたかった。考え方によってグループ分けするのも必要。
- プロセスを尊重。
- 次回に今回のワークが実になっていれば良い。
- 多機能の内容について、具体案を示して欲しいです。
- 情報は全て、メリットもデメリットも出して欲しい。
- 一体型ありきで進めていたので、意見が誘導されている気になりましたがどうでしょうか？
- 場所（土地）以外のことを話し合えるようにして欲しい。2020年からの事、学校の事も知りたい。
- もっと丁寧な進行を！
- ワークショップの前提を再三説明しないと、感情論になってしまいます。ファシリテーターの方も大変ですが、流れをコントロールするよう頑張ってください。
- この形で良いと思う。
- 狭くて、よく聞こえなかった。
- グループの意見の通り、一度市長さんに来ていただきたい。
- 急いで結論を出さないでいただきたい。十分な議論が必要である。
- 全体での質問の時間を作るべき。